

景域 41 芳野町界限



産業と住宅が共存する市街地と、大規模で緑あふれるレジャー施設から形成される景観

地形

市の南西端の神崎川に近接する低地に位置しています。

歴史

業務施設を中心とする地区でしたが、紡績工場の跡地を活用して、スポーツ施設や庭園などのレジャー施設が整備されました。

土地利用

アメニティ江坂では、スポーツを中心とする大型レジャー施設や彫刻の美術館、手入れの行き届いた緑の景観が形成されています。周辺には業務施設や結婚式場、住宅による複合市街地が形成されています。

都市活動・暮らし

平日は業務施設で働く人、週末などはレジャー施設で余暇を楽しむ人による活動や景観が形成されています。



アメニティ江坂



幹線道路沿いの業務施設

にぎわいのある景観をつくり、敷地内の緑を活かした潤いある景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりを感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 大規模施設の緑などの景観資源をまもり、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 31, 40, 45